



通信・放送の融合・連携環境における 標準化政策に関する検討委員会

- 説明資料 -

2010年2月3日

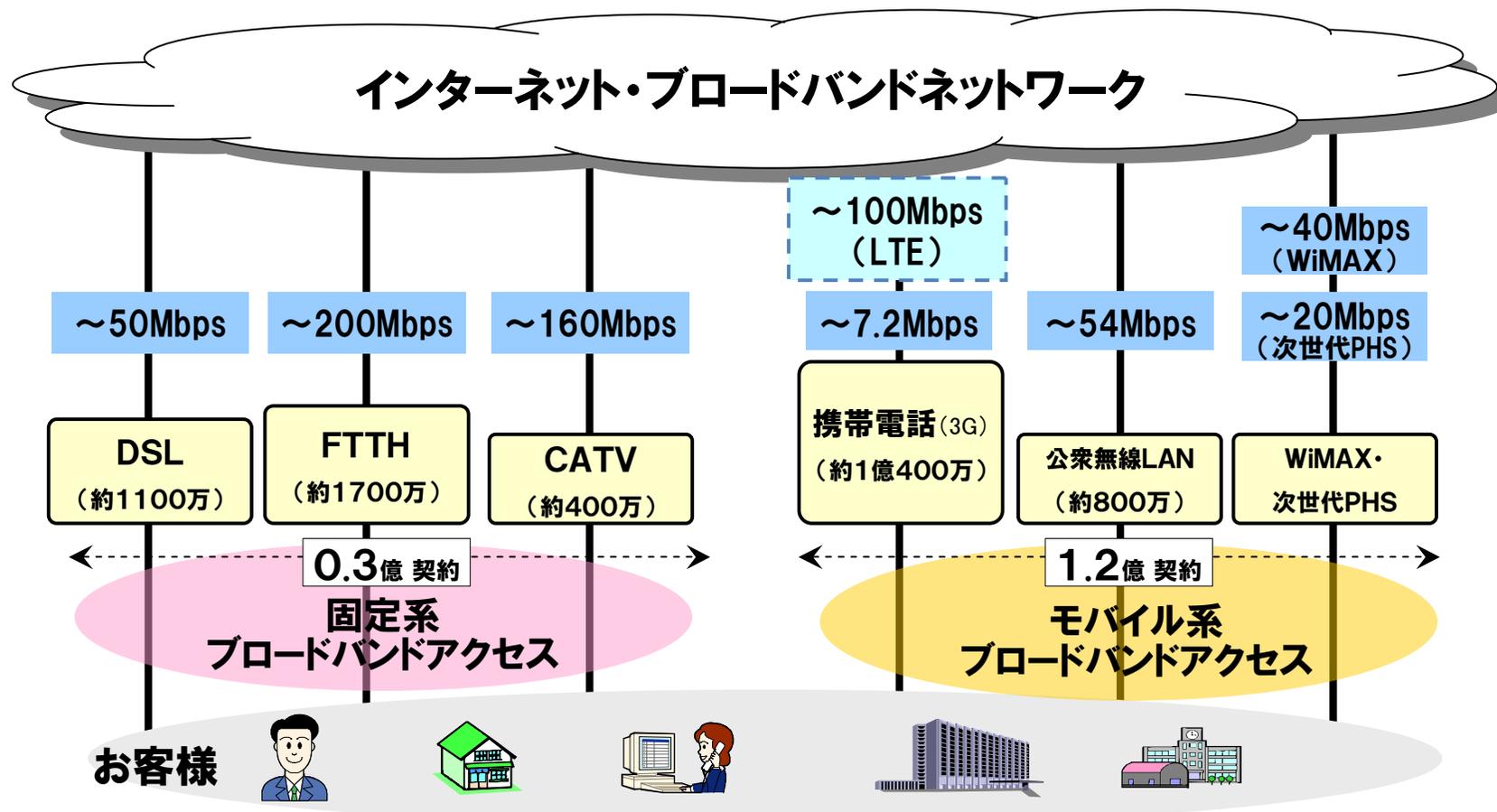
日本電信電話株式会社

研究企画部門

関 俊司

1. 情報通信のパラダイム変化と現状認識

➤ 日本のブロードバンドアクセスは固定系・モバイル系のトータルで1.5億契約に達する

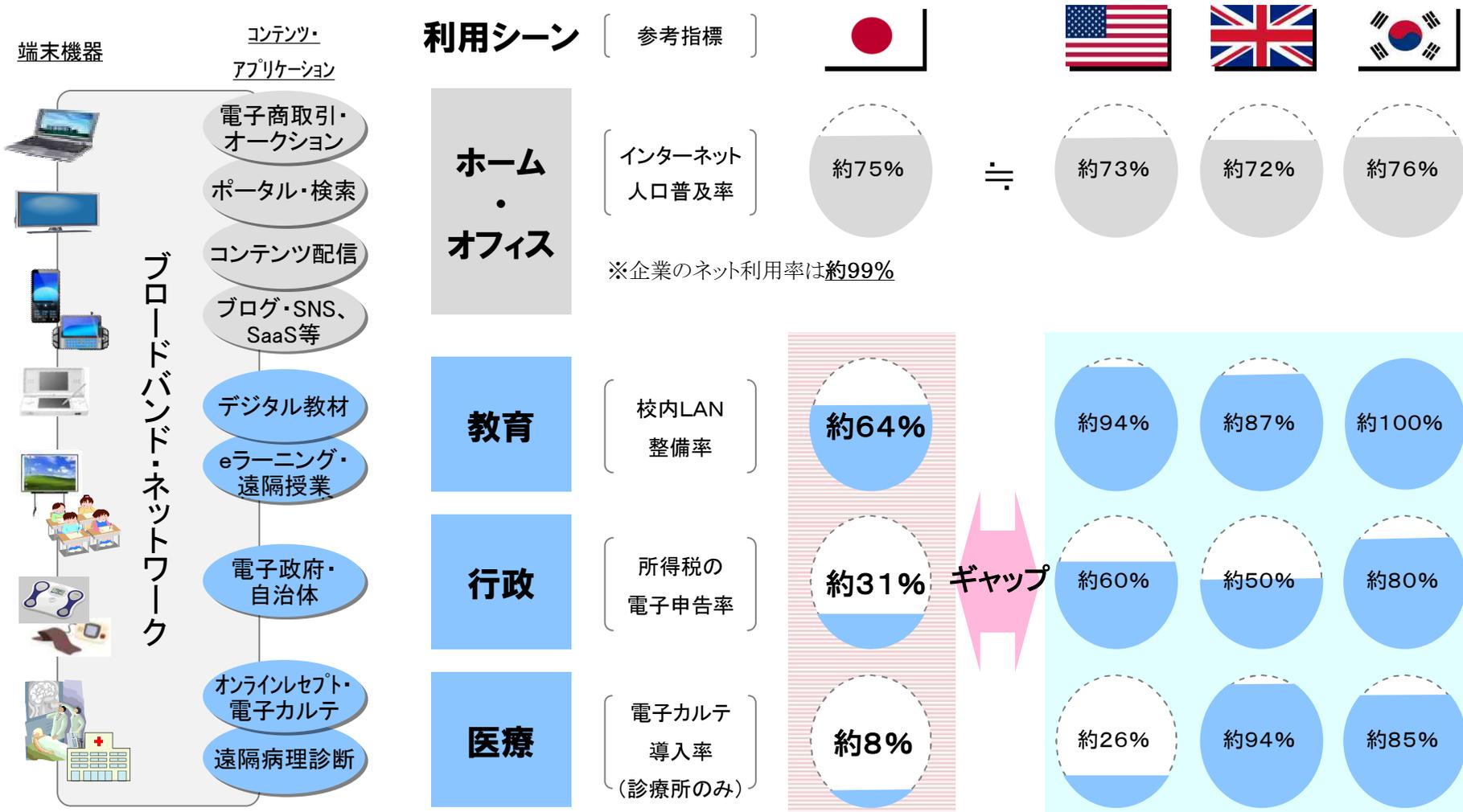


(注)速度に関する数値は商用サービスの速度であり、ベストエフォートでの最大値。なお、LTEは商用化前であり、カテゴリ3のピークレート。
 DSL:NTT東 フレッツADSL等、FTTH:NTT東 フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ等、CATV:J:COM等
 携帯電話:NTTドコモ FOMAハイスピード等、公衆無線LAN:NTT東 フレッツスポット等、
 WiMAX:UQコミュニケーションズ「UQ WiMAX」(2009年7月よりサービス提供開始。全国主要都市へエリアを拡大中)
 次世代PHS:ウィルコム「WILLCOM CORE XGP」(2009年10月より都内山手線内の一部エリアでサービス提供開始)

(出典)契約数は総務省「ブロードバンドサービス等の契約数の推移(2009年9月末現在)」等より作成

ブロードバンドの利活用の遅れ

➤ 米・英・韓と比べ、教育、行政、医療等の分野でのブロードバンド利活用の進展に遅れ



インターネット人口普及率: 日本は総務省「H20通信利用動向調査(2008年末時点)」、米・英・韓はITU「Measuring the information society the ICT development index(2007年時点)」

校内LAN整備率 : 文科省「学校教育における情報教育の実態等に関する調査結果(日本は2009年3月末時点、米・英・韓は2005年時点)」

所得税の電子申告率: 日本は国税庁「平成20年度におけるe-Taxの利用状況について」、米・英・韓は各社報道より

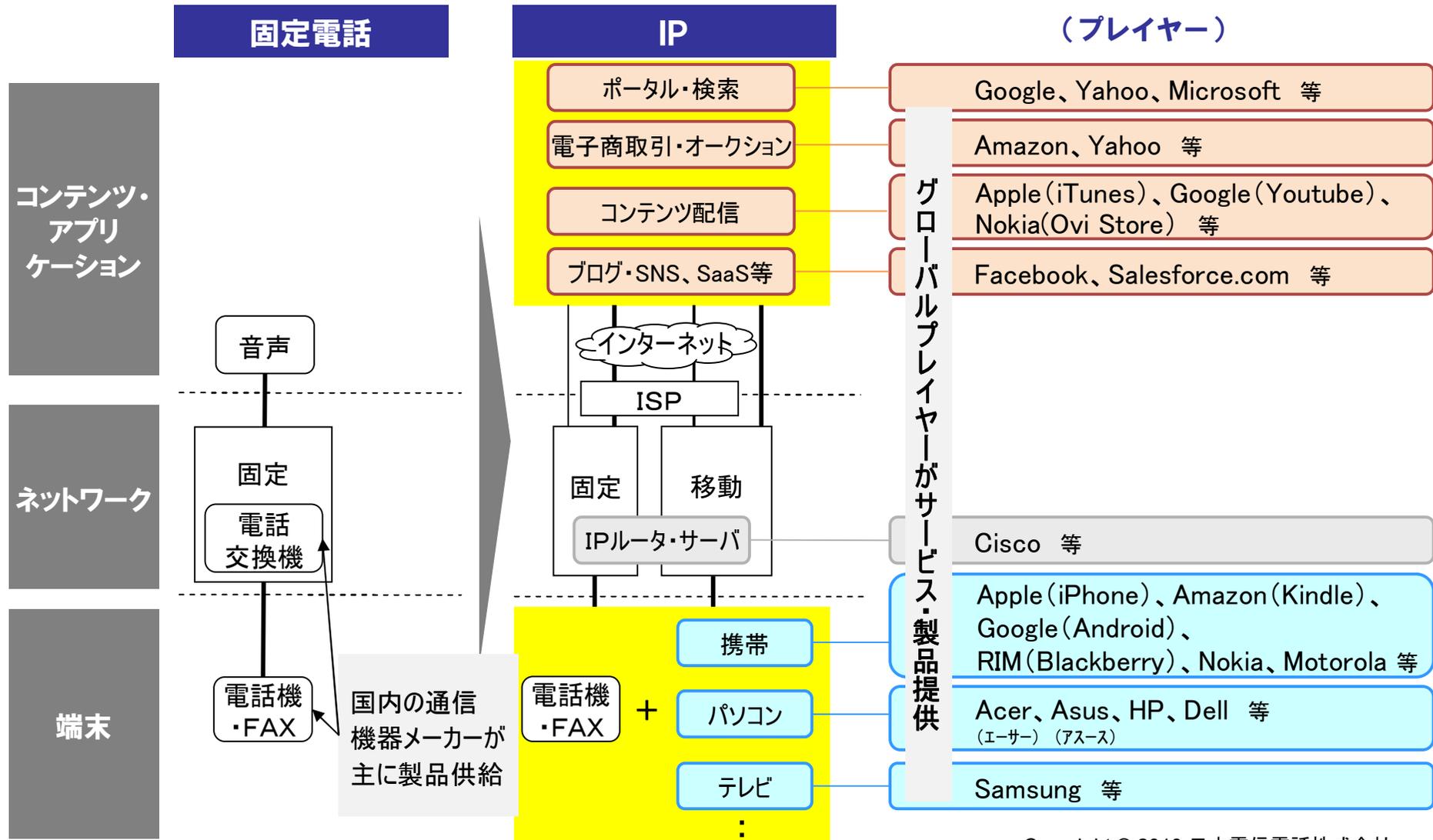
電子カルテ導入率 : IT戦略本部「医療・社会保障分野のIT戦略(日本は2005年10月時点、米・英は2006年、韓は2005年時点)」

情報通信のパラダイムの大転換

—プレイヤーの多様化と競争のグローバル化—



- IP化に伴い、水平分業が可能となり、多様な事業者がグローバルにサービスを展開
⇒ 新しい垂直統合・連携へ

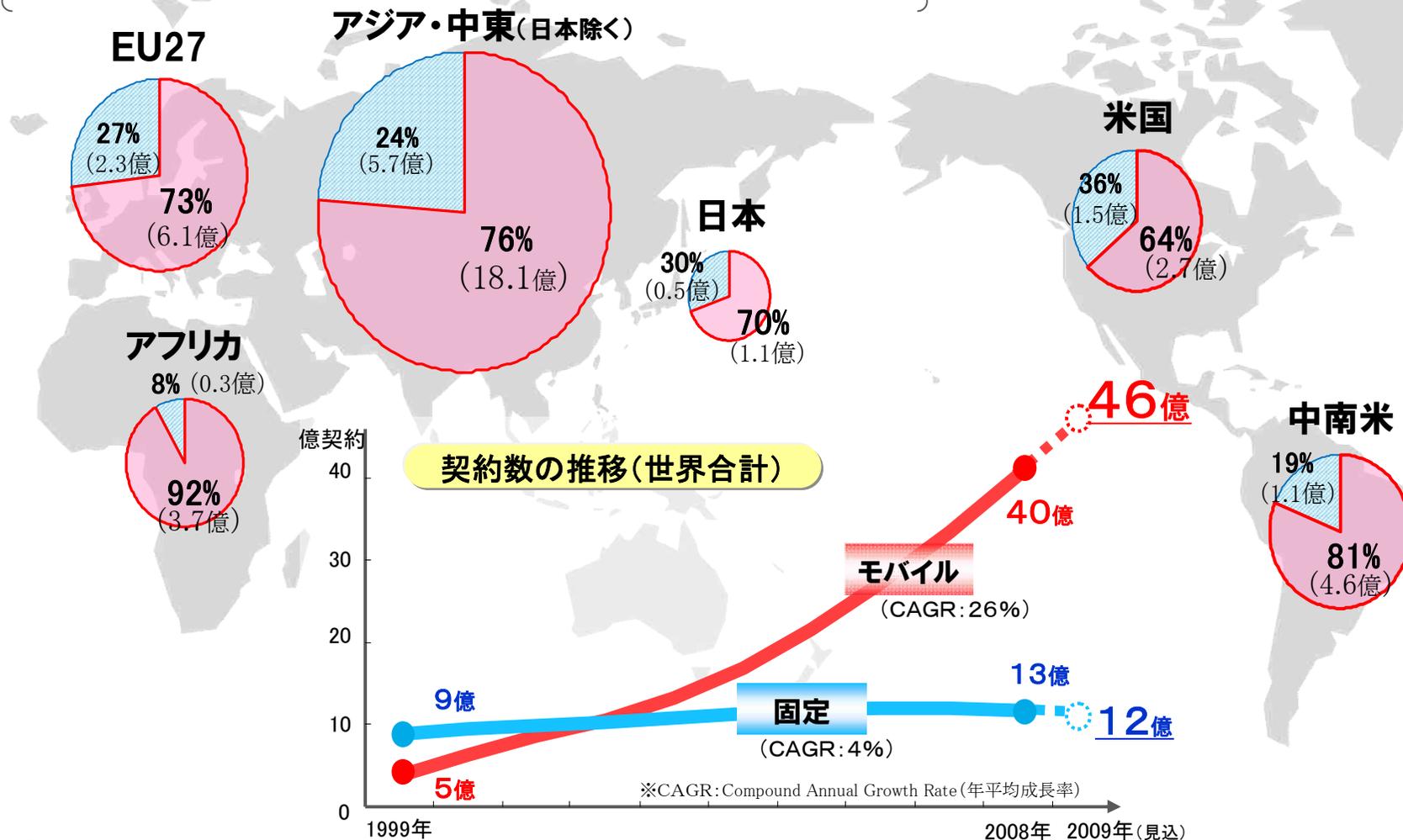


グローバル市場におけるモバイル化の進展

- モバイル契約数は46億、固定の12億を大きく上回り、更に拡大する見込み
- 特に、経済成長を遂げる新興国(BRICs等)や途上国(アフリカ等)ほど、その傾向は顕著

※円グラフは、固定・モバイルの契約数比率 <2008年実績>
(円の大きさは、固定・モバイル契約数を表す)

固定 モバイル

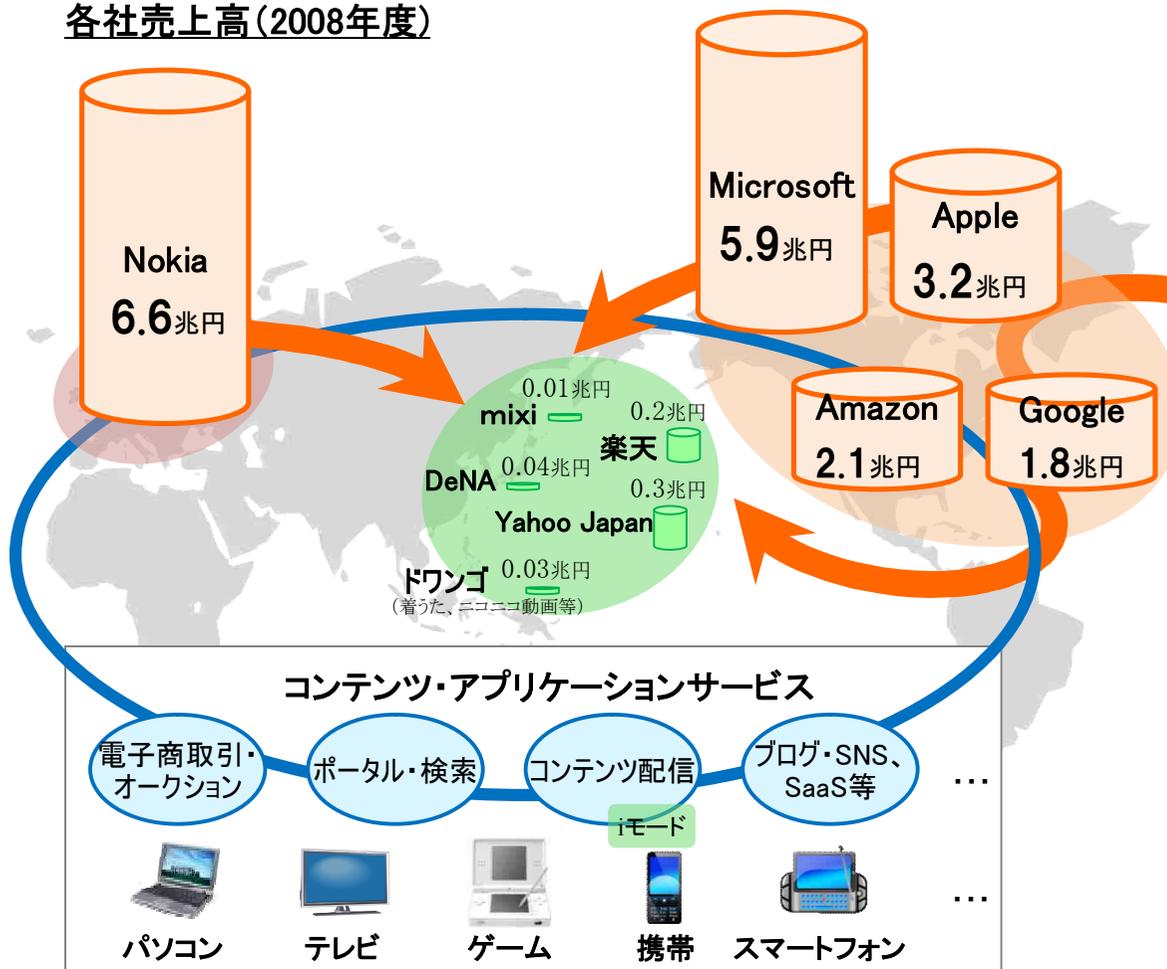


アプリケーションサービスのグローバルプレイヤー

主要プレイヤーは、海外プレイヤー(グローバルプレイヤー)

→携帯ビジネスでは、グローバルプレイヤーが端末とコンテンツ・アプリをセットにした
新たなビジネスモデルで日本市場へ参入

各社売上高(2008年度)

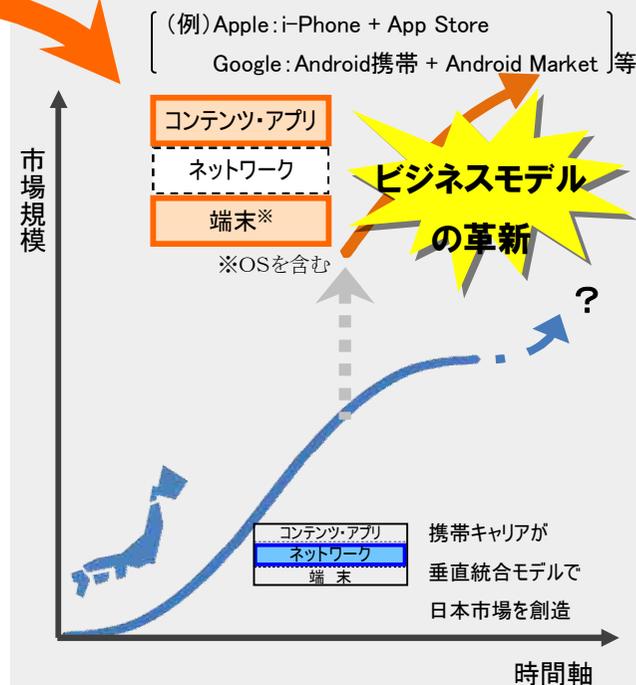


コンテンツ・アプリケーションサービス



<事例:携帯ビジネス>

端末とコンテンツ・アプリ(ウィジェット等)の
セット提供に見られるネットワークフリー
の垂直統合モデル



(注) 海外企業の売上高は2009年3月末レートにて換算 (1\$=98円、1€=130円)

2. 今後に向けて

社会構造変化をもたらす大きな潮流

- 従来の枠組みを超えた競争、「Stock(所有)からFlow(利用)へ」という流動化が進む
- ICTと他の分野のコラボレーション(サービス融合)により、エコシステムの進化・創造を加速

環境、教育、医療をはじめとする数多くの分野で新たなエコシステムを創造

携帯端末
機器

携帯電話、PDA、スマートフォン、TV、
フオフレーム etc.

デジタル情報・
コンテンツの
流通インフラ

安心・安全の社会インフラ
NGN・モバイル・FTTH etc.

デジタル情報・
コンテンツの
蓄積・処理

検索、ポータル、データベース、クラウド etc.

情報・
コンテンツの
デジタル化

メール、HP、ブログ、SNS、
音楽、映像、書籍、医療・バイタル情報 etc.

従来の業種・業界、レイヤー、国境
という枠組みを越えた競争が加速

経済的・社会的課題の克服と
エコシステムの進化・創造

ICT技術の進展

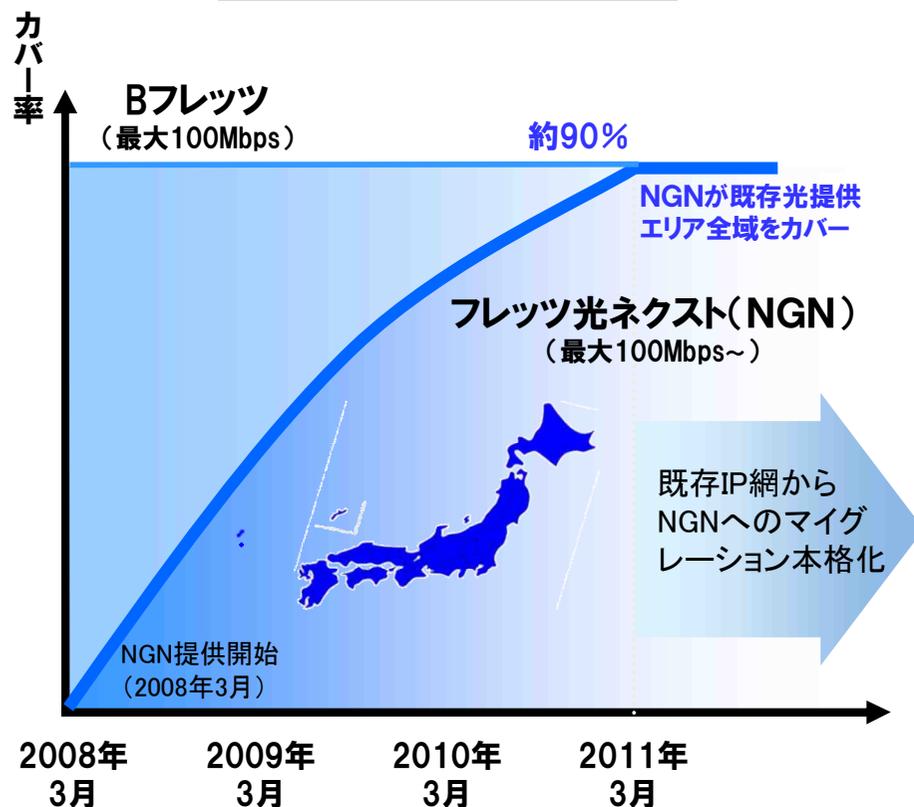
ブロードバンドネットワークは世界の最先端に



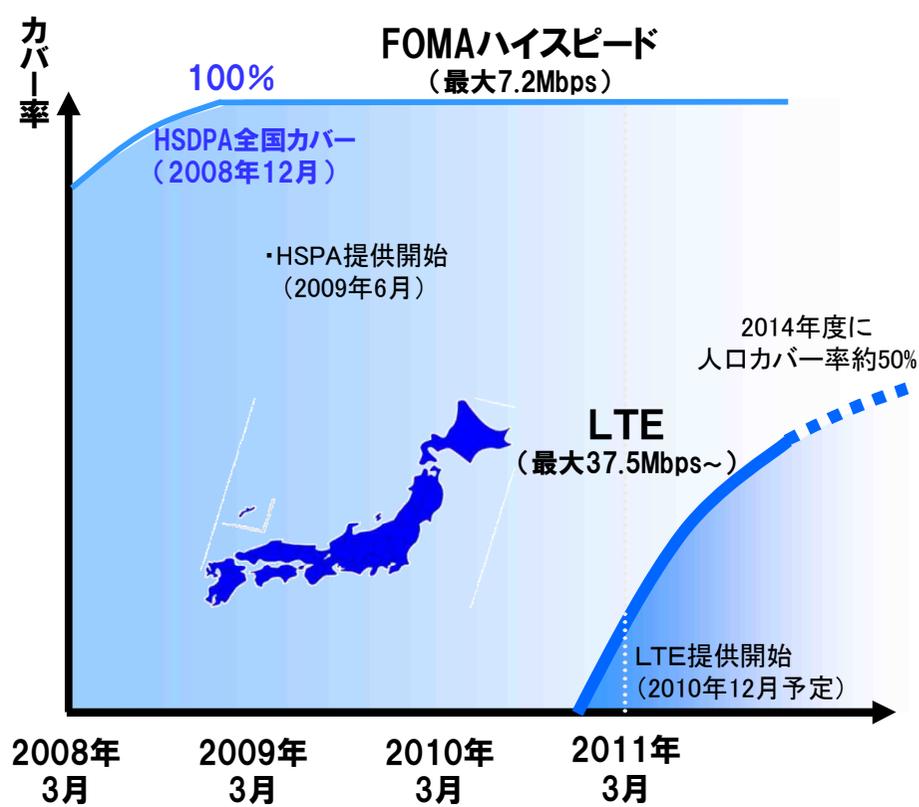
- 固定：
 - NGNを光の提供エリア全域に拡大(2011年3月)、約9割のエリアのお客様が利用可能
 - マンションは、各戸まで光ケーブルを引込む「光配線方式」で光化を推進
- 携帯：
 - FOMAハイスピードエリアを全国に拡大(2008年12月)
 - 2010年12月には、より広帯域のLTEを提供開始し、携帯のブロードバンド化を推進

LTE: Long Term Evolution(3.9世代携帯電話)

光ブロードバンド



携帯ブロードバンド



HSDPA: High Speed Downlink Packet Access HSPA: High Speed Packet Access

経済の成長

- ・ 生産性向上
- ・ 付加価値創造

社会的課題への対応

- ・ 少子高齢化、労働力不足
- ・ 医療, 介護, ヘルスケアの充実
- ・ 行政サービスの充実
- ・ 教育の充実
- ・ 環境、エネルギー問題

サービスの創造

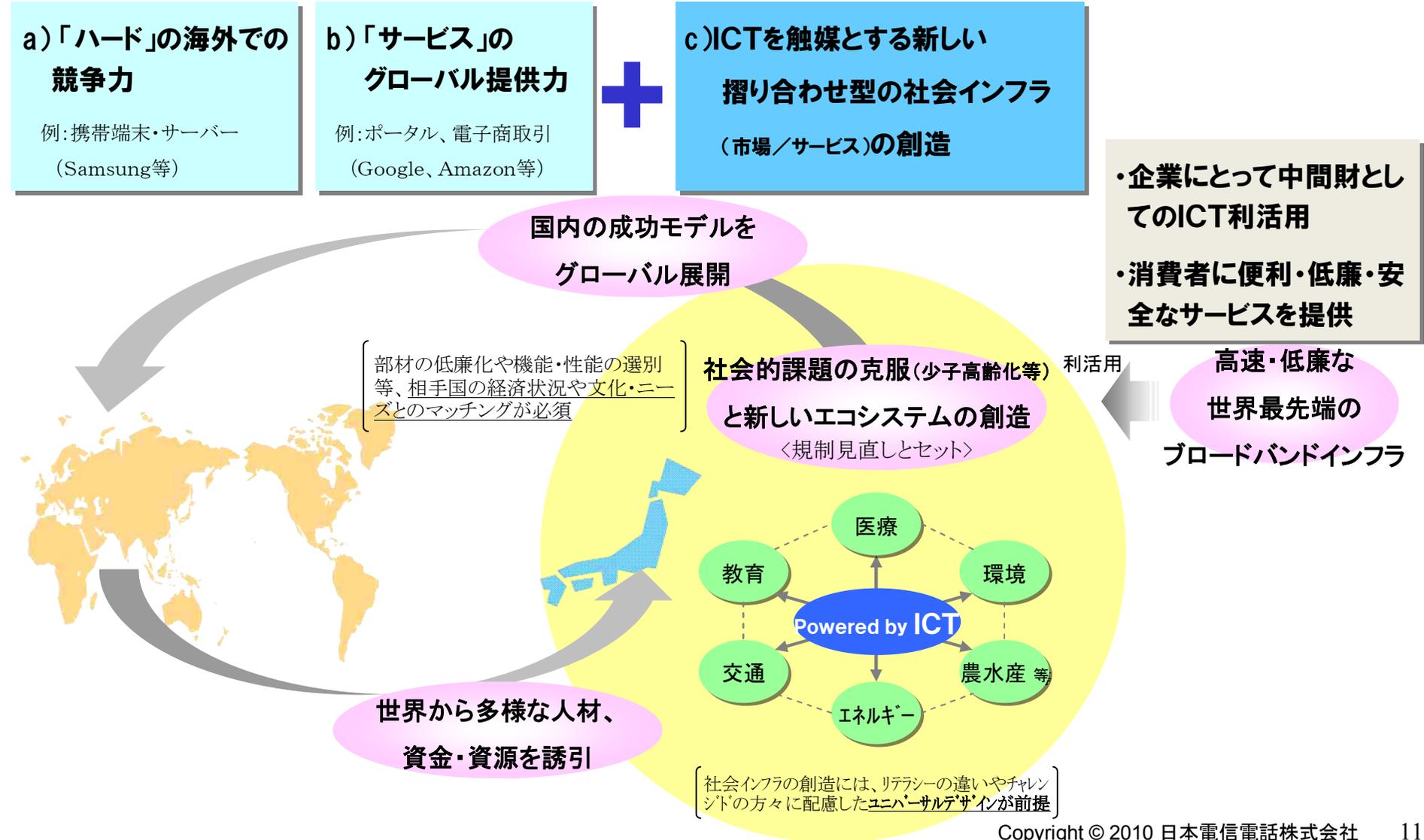
安心・安全な社会インフラ（NGN／モバイル）

サービス、ビジネスモデルを
世界に向けて展開

ブロードバンドを活用した新たなエコシステムの創造



➤ ハードやサービスの単独でのグローバル展開に加えて、ブロードバンドを活用した新たなエコシステムを創造し、国際競争力を強化



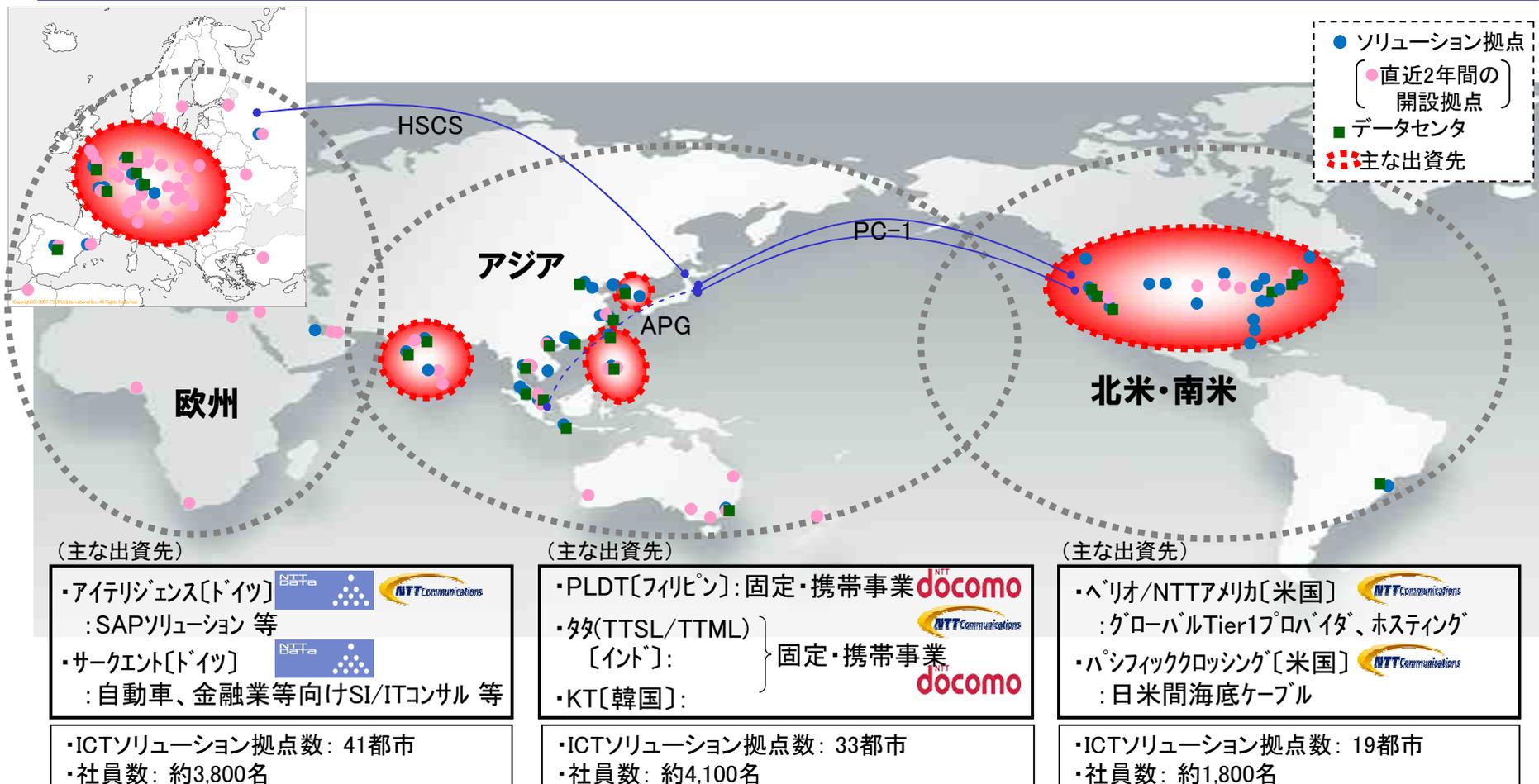
サービス創造に向けてのNTTの取組み

- 関連業界とのコラボレーション(協業)を通じてサービス創造を推進
教育や医療等の分野でブロードバンドを活用したエコシステムの実現に向けて貢献



グローバルの取り組みを強化

- 亜・米・欧に拠点を展開し、グローバルなICTソリューションを提供
- 携帯電話サービス、携帯向けコンテンツ配信等のアプリケーションサービスをグローバルに展開
 - － インドのタタ、フィリピンのPLDT等、アジアを中心に海外展開を実施
- 今後、ブロードバンドを活用したエコシステムをグローバルに展開



※HSCS:Hokkaido-Sakhalin Cable System、PC-1:Pacific Crossing - 1、APG:Asia-Pacific Gateway(2011年運用開始予定)